

コミュニティ・スクール CS だより

発行:CS 事務局

小中一貫 学校教育目標
重点目標 元吉原小学校

人として「熱く 優しく たくましく」
自分で みんなで さいごまで

新年、明けましておめでとうございます。昨年は、多くのボランティア活動や授業へのご協力、見守り活動の新たな取組など、様々な場面で、地域の皆様の力を貸していただき、ありがとうございました。おかげで、子どもたちの豊かな学びや安全な生活を実現することができ、感謝の思いでいっぱいです。まだまだ、コロナ感染の状況には不安なことも多く、学校と地域の連携・協働活動にも配慮や工夫が必要ではありますが、今年の干支の寅のように前向きに立ち向かい、できることにはトラ（寅）イしていきたいと思っております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年、12月のCS活動についてお伝えします。



紹介します！

元小応援団

2年生が、地域の方へかけ算九九暗唱を聞いてもらいました！！ 暗唱支援のボランティア活動 ありがとうございました。

計算力を身に付けるための基盤となるかけ算九九。どの子も習熟して、すらすら言えるようになってほしいという願いを実現できるよう、初めての試みとして、地域の方（12名）に暗唱を聞いていただく活動にチャレンジしました。（11月26日～12月20日 8回）



2年生の声

- ・ぼくがとちゅうで言えなくなっても、最後まで言う練習をしていただき、ありがとうございました。ぼくの手をにぎっていっしょに言ってもらってうれしかったです。
- ・わたしは、九九をはやくせいかくに言えるようになりました。まちがえないで言えたら、こんなにうれしいんだと思いました。ありがとうございました。
- ・ぼくは、八のだんが苦手です。でも、みなさんのおかげで言えるようになりました。ほめたり助けたりしてくれて、ありがとうございました。
- ・かけ算九九をいっぱいやっていったおかげで、できなかった八のだんと九のだんができるようになりました。ありがとうございました。かけ算がもっと好きになりました。
- ・いっぱい九九を聞いてくれてありがとう。楽しかったです。



ボランティアの皆様の声

- ・はじめは敬遠していた段も最後には進んでチャレンジして頑張っている姿がとても可愛かったです。何回か顔を合わせていたら、「バイバイ。」と、手を振ってくれて仲良くなれました。とても楽しい時間でした。
- ・回数を重ねるたびに、全部の段を通して言えるようになり、成長を感じました。
- ・自分の娘以来の九九暗唱で、聞きに来るのが楽しみでした。みんな何回も列の後ろに並んでは、よく頑張っていました。
- ・たくさん参加させていただきました。中ごろからは、通しで言える子が増えて、自分の励ましにもなりました。

2年生担任より

子どもたちは、皆さんが来てくださる日を励みにして、練習を頑張っていました。終わってからも、「またやりたいな。」と九九暗唱が楽しみになったようです。とても貴重な体験となりました。ありがとうございました。

※今回は、初の試みでしたので、民生児童委員の皆様の力をお借りしました。学習ボランティアに関しては、該当学年の保護者様とふれあい協力員様、地域の協力者の皆様との連携を図り、連絡不行き届きにならないように努めて参ります。今後よろしくお願いいたします。

3年生 社会科 「はたらく人と私たちの暮らし」

11月29日

・・・「工場ではたらく人と仕事」

12月9日

3年生が、紙産業で働く人の思いや仕事の工夫、自分たちの生活とのつながりなどを学習するため、「紙っと！プロジェクト」の石原さん、「大一紙工株式会社」の深澤さんが協力してくださいました。富士市が紙の町であることや様々な紙を製作していること、原料や加工の仕方、作るときの工夫や思いなどを話していただいたり、富士市特産の紙バンドで作る紙あかりを制作したりして、紙産業とくらしとの関わりについて幅広く学習することができました。ありがとうございました。



3年生の声

- ・わたしは、富士市が「紙のまち」ということを知りませんでした。でも、富士市に住んでいるから、知っていませんでした。紙のことをいろいろ教えてくれて、ありがとうございました。
- ・紙あかりを早く完成させて、あかりとして使いたいです。紙についてもよく分かったので、このことは忘れません。
- ・強い紙や弱い紙はどう分けているのか聞いてうれしかったです。ほかにも紙の製品がたくさんあることもわかりました。
- ・お二人の話を聞いて、紙が好きになりました。ぼくは、紙を一生大切にします。
- ・紙バンドではじめて作ってみて、楽しかったです。かわいい作品ができました。紙は役に立っていて、すごいと思いました。

6年生 総合的な学習「夢をつかめ！」 12月6日

静岡朝日テレビ フロントアナウンサー 杉澤 洋佑さんの話

様々な職種の方をお招きして、仕事に関する話を聞かせていただく「夢をつかめ！」の学習も終わりに近づきました。12月には、情報の仕事に携わっていらっしゃる杉澤洋佑さんがテレビ局や番組作りについての話を聞かせてくださいました。アナウンサー体験なども交えた番組作りの裏側やその仕事に就くまでの道のりなど、なかなか聞けない興味深い話をさせていただき、6年生は興味津々の様子でした。ありがとうございました。



6年生 図画工作科 「墨から生まれる世界」

市内にお住まいの書道家、赤澤佳心さんをお招きして、筆や様々な道具を使い、墨の濃淡やできた形のおもしろさから、自分が表現したいものを制作する学習を行いました。普段は、墨で文字を書く経験しかない子どもたちは、墨のもつ楽しさや表現のおもしろさを知り、夢中で作品づくりに取り組みました。中学校で頑張りたいことを表した一文字も加えて、素敵な卒業制作となりました。ありがとうございました。



大人のための算数授業

6年中村教諭

個人用タブレットを持つなど、授業のIT化が進んでいます。ICT活用による思考力育成を目指す現在の授業の様子を分かっていたらどうと、中村教諭が参観会の折に、保護者の皆様を対象とした算数授業を行いました。



- ・今の算数の“考える授業”を体験できてよかったです。とても楽しい時間でした。ありがとうございました。
- ・人の考え方・見方の違いや、発表のしやすさなど、授業を楽しく感じられることで、学ぶことへの意識がずいぶん変わるなど思いました。私の時代よりも子どもたちが安心して発表したり、友達の考えを知ることができたりして、うらやましく感じました。また、このような機会をぜひ作ってください。

高田さん、ありがとうございました！

今井にお住まいの高田辰市さんは、共同墓地の四つ角に立って、10年以上もの長い間、毎日、子どもたちの安全を見守ってくださいました。令和3年12月24日をもって活動をお辞めになるとお聞きし、各学年の子どもたちが書いたお礼と感謝のメッセージをお届けしました。高田さんのおかげで、元小の子どもたちは安心・安全な毎日を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

